

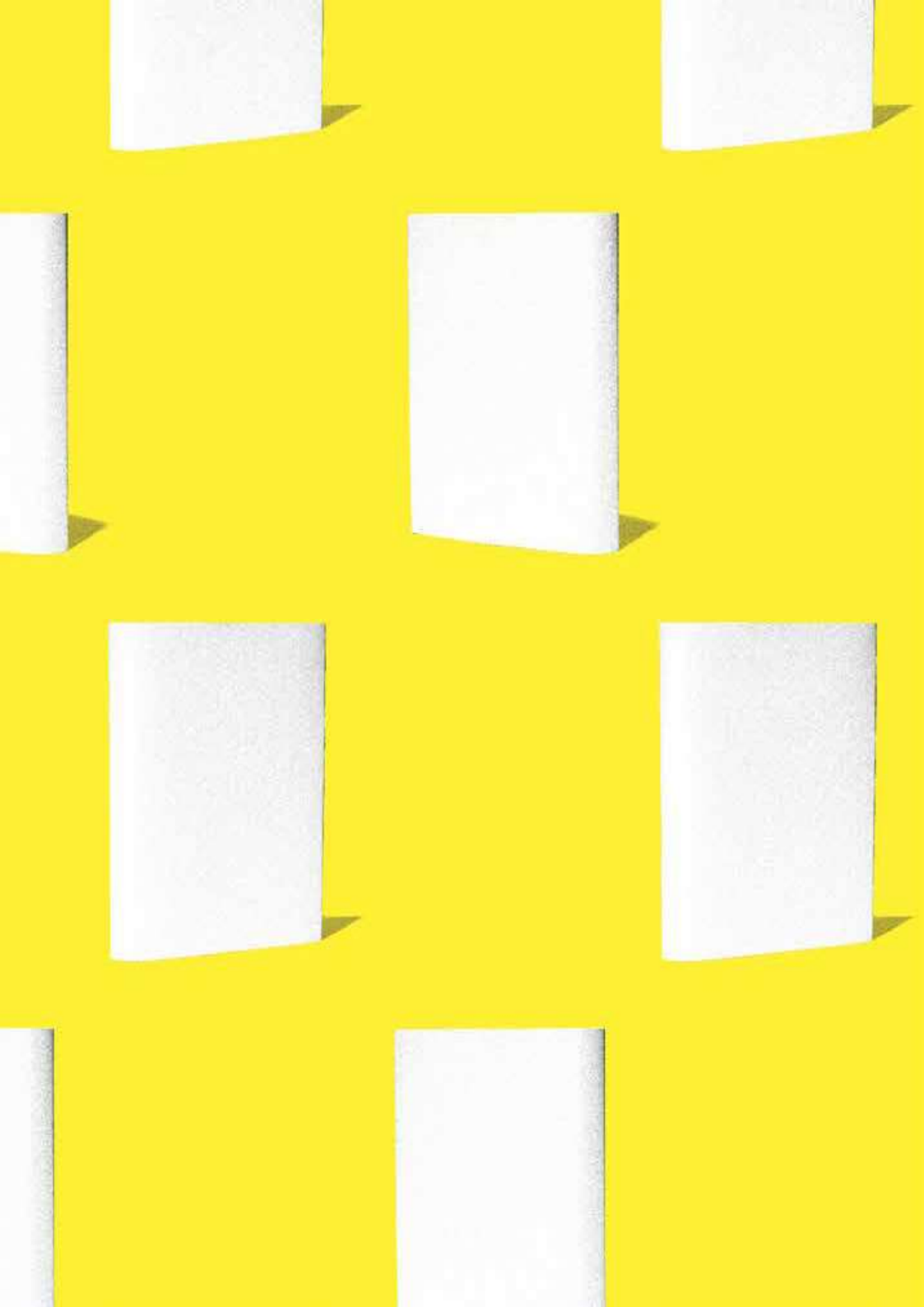
臺灣書旅

台湾を知るための
ブックガイド

A Book Guide to Taiwan



FREE



臺灣 書旅

A Book Guide to Taiwan

台湾を知るための

ブックガイド



読者のみなさまへ

台湾と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？ 近年、タピオカミルクティーの爆発的流行やコンビニの魯肉飯、また同性婚の法制化や「成功モデル」と言われた新型コロナ感染症対策、半導体企業TSMCの熊本進出など、台湾の情報を目にしたり耳にしたりする機会も増えてきました。観光地としての人気はもちろん、高校の海外修学旅行先としてもトップとなりました。

新型コロナウイルスの感染拡大以降、台湾に行くことが難しかったこの3年近くの間、日本ではなんと、毎年100冊以上の台湾関連書籍が刊行されてきました。とりわけ「中国語」ではなく「台湾華語」の語学書の立て続けに刊行は、日本人の台湾に対する関心の高まりを感じさせます。

そこで、ポストコロナの台日友好・台日交流のためにも、台湾の文化をより多くの日本人に知ってもらうことは極めて重要であると考え、台湾を知るためのブックガイドを制作しました。

『台湾を知るためのブックガイド』では近年日本で出版されたものを中心に、約400冊の台湾関連書籍を文・人・政・食・旅・学・日の7つのカテゴリ、29のテーマに分けて紹介しています。各テーマを解説するのは、その分野の第一線で活躍する29人のナビゲーターです。多様な魅力を持つ台湾。まずは気になるテーマから気軽にページをめくってください。ひとつのテーマが次につながり、思いもしなかった新しい台湾の素顔がみなさまを待っていることでしょう。

再び台湾へ旅立つ前に、また台湾をより深く理解するためにも、本を通じた台湾旅「臺灣書旅(たいわんしょたび)」、永久保存版としてお楽しみください。

2022年9月2日
 台北駐日経済文化代表処台湾文化センター
 株式会社紀伊國屋書店
 NPO法人日本台湾教育支援研究者ネットワーク(SNET台湾)

P.2 読者のみなさまへ

文

P.10	文学	台湾文学 翻訳の黄金時代	大東和重
P.22	コラム	日本の台湾文学研究	明田川聡士
P.24	エンタテインメント	映画の中に台湾のアイデンティティを見る	稲見公仁子
P.30	コラム	台湾漫画のスタッカート	李衣雲
P.34	建築と文創	歴史を結ぶ近代建築、歴史を融合させる「文創」	上水流久彦

人

P.42	エスニック	先住民から新住民まで 多様なエスニック・グループ	横田祥子
P.48	宗教	台湾の宗教 悲しくも麗しい島の多元的な祈りの姿	藤野陽平
P.54	コラム	日本社会にとって「オードリー・タン」とは何か?	栖来ひかり
P.56	ジェンダー	アジアのLGBTQ/ジェンダー平等先進国 一虹色に染まる多様「性」の島	鈴木賢

政

P.64	政治	台湾政治と民主化への道のり	家永真幸
P.70	経済	世界経済の中でプレゼンスを増す台湾	佐藤幸人
P.76	コラム	台湾から考えるコロナ対策	許仁碩
P.78	国際関係	複雑な国際環境の中で勦やかに生き抜く台湾 一国際的孤立から民主主義成功のショーケースへ	五十嵐隆幸

食

P.86	グルメ	美麗島の味を形づくるもの 一移民の歴史と多様性が織りなす飲食文化	大岡響子
P.92	レシピ	台湾の「おいしい」が日本に届くまで 一おうちでつくれる台湾グルメレシピ	田中美帆

旅

P.100	観光	台湾に行きたーい! 一自分に合ったプランのつくり方	前原志保
P.108	コラム	日本で楽しむ台湾ガイド 一そこに台湾があるじゃない	阿多静香
P.110	台南	古都・台南を歩き、台湾の歴史的多元性を知る	黒羽夏彦
P.116	コラム	台湾に暮らして	阿部由理香
P.118	鉄道	ノスタルジック&エキゾチック 台湾鉄道旅	松葉集

学

P.126	教育	映画で知る台湾教育の〈過去〉と〈現在〉	山崎直也
P.132	コラム	あなたを台湾に導く、フレンドリーな伴走者 一人生を彩る出会いに「花束」を	胎中千鶴
P.134	言語	台湾語と台湾華語はどう違う?	吉田真悟

日

P.144	日台関係	戦後の日台関係	黄偉修
P.150	沖縄から考える	沖縄から考える台湾と日本 一地域間の視点で見えてくるつながり	菅野敦志
P.156	コラム	台湾から見た日本 一「哈日」、疑似恋愛、そして時々メランコリック	謝惠真
P.158	日本統治時代	日本統治時代をどう考えればいいのか? 一「過去」を語る「現在」	洪郁如

P.166	図書館で生きる復刻本たち	河原 功
P.170	日本で台湾書籍の原書に出会いたいなら 台湾書店の香りと雰囲気が満喫できる、Books Kinokuniya Tokyo 洋書専門店へ。	舟木幹男 赤松美和子

